

第32回戦争展 概要報告

2019年8月30日～9月1日の3日間開催

場所: 豊田市産業文化センター

延べ1400人余の参加者

展示

1. 絵本作家の原画展

60人の絵本作家が子どもたちに手わたしたいと、平和の願いを込めた生の作品展。憲法の大切さが伝わります。



2. 子どもと戦争

岐阜の資料館から借用したパネル展示。
戦争の前とあととを比較し、日常生活が大きく変わることがわかりやすかった。



3. 豊田とトヨタの戦争

終戦前日、トヨタ自動車本社工場に落とされた3発の模擬原子爆弾のパネル展示や市内各地での戦争に関するパネル展示。



4. 加害の真実

開拓の名目で旧満州に入植、厳しい自然と敗戦の逃避行。知られていない加害の実態。



1. プレ企画: 6月29日崇化館交流館で

「祖父とあゆむヒロシマ 今は言える自由に」
被爆体験者とその孫の語り合い



93歳の祖父は8月6日の翌日、衛生兵として広島に救助活動へ。思い出したくないつらい話に戦争は絶対にダメと改めて感じました。

2. 絵本作家の講演会: 8月31日午後

ひろかわさえこさんが原画展によせて
「子どもたちに手渡すものは？」と絵本に込められた平和への
思いを語りました。



3. 戦争体験を聞く会: 9月1日午前

沖縄戦で父を亡くした中村桂子さん、父の意志を継いで沖縄戦の話を各地で伝えています。



4. 被爆ピアノ平和コンサート: 9月1日午後

広島で被爆した奇跡のピアノで子どもたちの歌、群読、若菜さんの歌などで大きな感動。



[トップページに戻る](#)